

後仕上げタイプ 上り框

施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

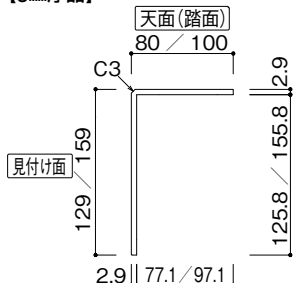
施工準備

■製品寸法図

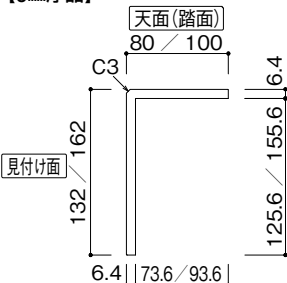
・後仕上げタイプ 上り框 長さ：1950mm / 2950mm

【断面図寸法：単位mm】

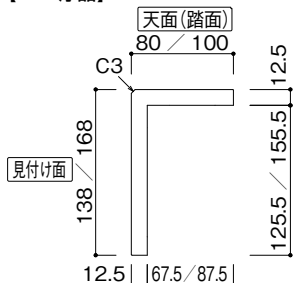
【3mm厚品】



【6mm厚品】



【12mm厚品】



本製品施工にあたり、別途以下が必要です。あらかじめご用意ください。

☐ シリコン系シーリング剤 ☒ 接着剤(ウレタン系) ☒ ヘラ(接着剤塗布用)

施工上のご注意

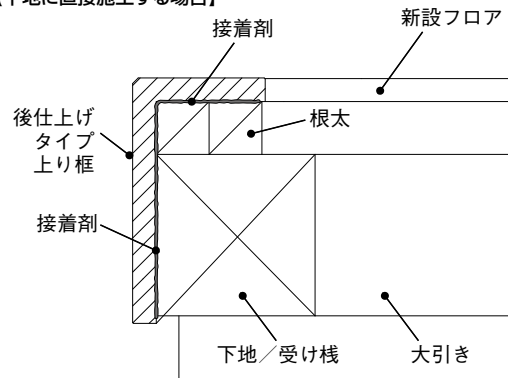
- 本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。また、屋内であっても浴室等湿度が高い場所／水がかかる場所／直射日光が当たる場所では使用しないでください。腐食／割れ等により脱落するおそれがあります。
- 本書に記載されていない方法で施工され、それが原因で事故および部材の破損等の問題が生じた場合、責任を負いかねます。
- 本製品の保管は、屋内の湿度が低い場所に平置きとしてください。
- 梱包材や残材は、法律に従い適切に処理してください。
- 開梱後はすみやかに施工し、直射日光が当たる場所や湿気の多い場所に放置することは避けてください。反りやねじれ等、変形の原因となります。
- 施工前に、製品に損傷がないことをご確認ください。施工後に部材の返品／交換には応じかねます。
- 本製品は、両面テープを併用した接着施工となります。接着剤は、必ず下記ウレタン系の製品をお使いください。

メーカー	品名
株式会社ノダ	フロア用接着剤 FP-B06
アイカ工業株式会社	アイボン JW-280PRO JW-400シリーズ
株式会社オシカ	セレクトィ UR-145
コニシ株式会社	ボンド KU-928R KU-928C-X
オート化学工業株式会社	オートンアドハー 8500

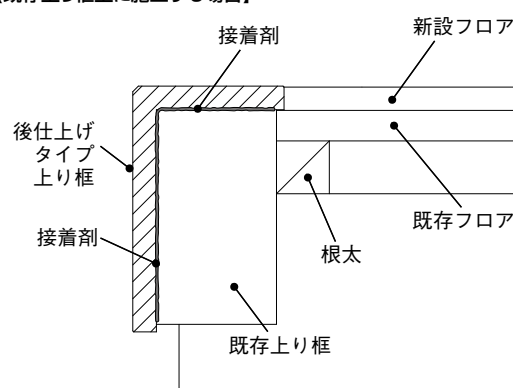
- 接着剤／インク／塗料等の汚れが付着した場合、中性洗剤で拭いてください。シンナーは絶対に使用しないでください。
- 本製品は化粧材です。施工箇所の既存構造物は、積載荷重に耐える構造が必要です。施工の前に必ず構造／強度を確認し、必要に応じて下地補強を行ってください。
- すき間の発生を防ぐため、床／タイル／見切り材等取合い箇所の施工は、同時期に行ってください。

■納まり図(参考)

【下地に直接施工する場合】



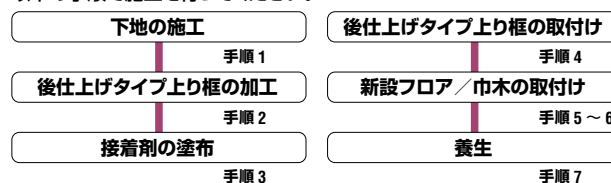
【既存上り框上に施工する場合】



施工手順

■施工の流れ

以下の手順で施工を行ってください。



■施工

下地の施工

1. 下地を施工する

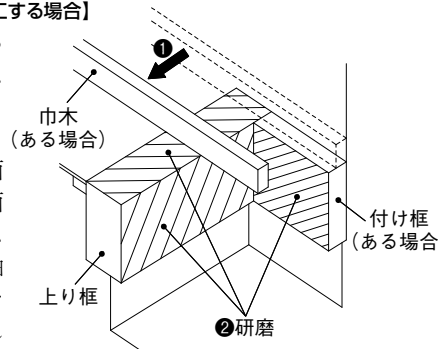
- 下地を施工します。施工方法は、下地に直接施工する場合と既存上り框上に施工する場合とで異なります。

【下地に直接施工する場合】

根太等の下地表面をカンナや紙ヤスリで削り、平滑にします。

【既存上り框上に施工する場合】

- 巾木が取付けられている場合、巾木を取外します。(①)
- 既存の框天面および見付け面を#120の紙ヤスリで研磨し、油分／ワックスを取除き平滑にします。(②)



●既存の框に反りやネジレが発生し、既存のフロアとの段差が1mmを超える場合、カンナや紙ヤスリで削り平滑にしてください。

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション

リフォーム

衝撃吸収

天然木

化粧シート

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・

室内はしご

内壁材

あかり

サポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用

ハイベストウツ

P&C-MJ

SYSTEM

設計・施工

資料編

製品掲載

ページ

後仕上げタイプ 上り框

施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

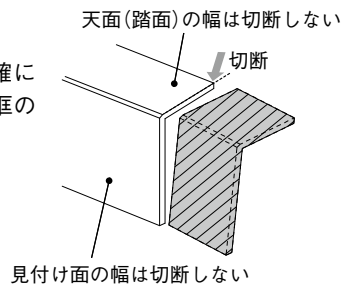
後仕上げタイプ上り框の加工

2. 後仕上げタイプ上り框を施工する

- 後仕上げタイプ上り框を施工します。付け框を取付けるか否かにより施工方法が異なります。

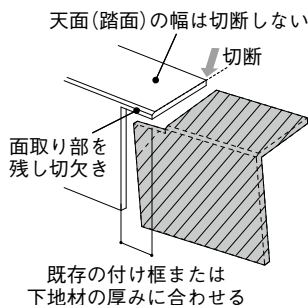
【付け框を取付けない場合】

施工部分の間口寸法を正確に測り、後仕上げタイプ上り框の長さを切断します。



【付け框を取付ける場合】

後仕上げタイプ上り框の長さを切断し、既存の付け框または下地の厚みに合わせて面取り部を残し、見付け面を切欠きます。

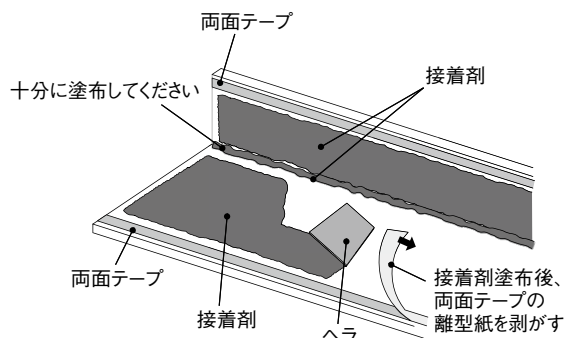


- 付け框として使用する場合は除き、天面／見付け面を切断しないでください。
- 切断加工後、切断面にシーリング材を塗布してください。

接着剤の塗布

3. 接着剤を塗布する

- 後仕上げタイプ上り框の裏面に接着剤を塗布します。下地が少し透ける程度(塗布量約240g/m²)、ヘラで全面に均一に塗布してください。接着剤塗布後、両面テープの離型紙を剥がします。



- 接着剤は、全面同一製品をご使用ください。
- 両面テープの上には接着剤を塗布しないでください。
- 接着剤は適量塗布してください。多すぎると両面テープ部分に接着剤がはみ出し、両面テープの粘着力を損ないます。両面テープのきわはなるべく薄く、少し離して塗布してください。
- 指定接着剤を使用してください。指定接着剤以外を使用すると接着不良や踏み鳴りが発生します。

後仕上げタイプ上り框の取付け

4. 上り框を取付ける

- 1.後仕上げタイプ上り框少し手前から、C面部裏側を既存框(または下地受け桟)のコーナー部に押しつけるようにして納めます
 - 2.両面テープ部分の中央部を強く押し付けます。
- 次に外側を強く押し付けます。



- 既存のフロア側へ接着剤がはみ出した場合、すぐに乾いた布で拭き取ってください。放置すると新設フロアを貼る際、段差が生じます。

既存の框または下地受け桟

新設フロア／巾木の取付け

5. 新設フロアを施工する

- 新設のフロアを施工します。フロアの施工は、フロア同梱の施工説明書に従ってください。

6. 巾木を取付ける

養生

7. 養生する

- 表面のゴミを除去し、養生シートおよび養生テープで表面を保護します。



- 布テープ／クラフト粘着テープ等は、絶対に使用しないでください。
- 本製品にワックスがけは不要です。表面に汚れが付着している場合、中性洗剤を水で薄め、雑巾に含ませて固く絞り拭き取ってください。

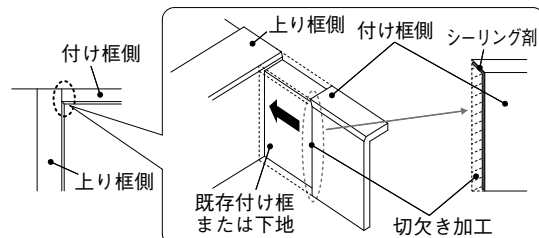
■施工後の確認

目すき／浮き／床鳴りがありませんか。

こんなときには

後仕上げタイプ上り框を付け框側に使用するには

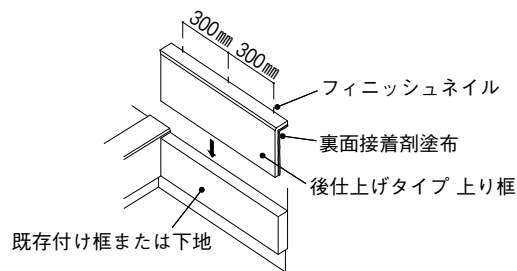
- 1.後仕上げタイプ上り框の天面の幅を施工部分の寸法に合わせ切断します。
- 2.上り框側面取り部に取合う付け框側の端部を加工します。切断／加工面には、シーリング剤を塗布してください。



- 上り框と付け框は「天面あわせ」を標準としてください。
- 製品断面／C面部および両端部は「Vカット仕上げ」です。上り框側面取り下端に付け框側天面を合わせる取付け方法で見付け面下端を切断すると、Vカット部が破損します。

付け框を取付けるには

- 1.手順3と同様にして上り框側裏面に接着剤を塗布します。
- 2.手順4と同様にして上り框側を取付けます。
- 3.付け框側天面の巾木で隠れる部分にL=25mmのフィニッシュネイルを300mmピッチで打ち込みます。



- 天面部の幅方向切断を行った場合、天面側に両面テープはありません。

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション直貼り

リフォーム向け

衝撃吸収床材

天然木フロア

化粧シートフロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・室内はしご

内壁材

あかりサポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用ハイベストウッド

P&C-MJ SYSTEM

設計・施工資料編

製品掲載ページ

158